

● 7月17日(木) 晴 当麻から新篠津へ・そして小樽からフェリー

・4時起床。隣の横浜の車はもう起きて出かける準備をしている。「人が出てこない静かなうちに美瑛の写真を撮りに行く」のだと云う。昔若い時は単車で北海道中を回ったが、今は単車を車に積んで東北から北海道を回っているのだそうだ。6時過ぎに美瑛に向けて出て行った。

・私の今日の行程は道の駅「しんしのつ」まで。途中旭川空港でお土産を買い、道の駅「北竜」のスープカレーで昼食(去年食べて旨かったので今年もぜひ食べたい)、そして新篠津のレストランで、これも去年食べて旨かった「エゾシカのステーキ」で北海道最後の夜の祝杯をあげるという計画だ。

・あまり急がないのでゆっくり支度をしながら手元のスタンプラリーのスタンプブックを見てみると現在19駅、ラリー賞(30駅)まであと11駅だ。ここから新篠津までは道の駅が沢山あるので、あと11駅はなんとかなりそうだ。よし、やってやろう! そうと決まればすぐ出発しよう。

・9時過ぎにラーメン屋台のおじさんに挨拶をします。まず近くの道の駅「とうま」を目指して出発した。

・「東川」で2個目のスタンプを押してから、旭川空港へ。相変わらず人が少ない静かな空港だ。お土産を購入してから道道を西へ向かい「ライスランド深川」「鐘のなる町秩父別」に寄り、そして「サンフラワー北竜」に昼前に到着した。

・早速スープカレーをとレストランに飛び込んだが、今年はスープカレーはやっていない! やれやれ。しかたなく「黒いカレー」とやらを食ったが、これがまたけっこう旨かった。

・向日葵の町・北竜。見渡す限り向日葵畑だが、花の時期は8月10日頃で今はまだやっと芽が出て来たところで花はもちろん花芽もない。

・北竜から国道275号を南下して「田園の里うりゅう」で6個目のスタンプをゲット。「たきかわ」「つるぬま」「奈井江」と国道12号を南下し、3時過ぎに道の駅「三笠」に到着した。



ここは北海道にできた第1号の道の駅で、2年目の北海道山紀行の時、小樽に上陸して最初に泊まった道の駅なので大変懐かしく忘れがたい駅だ。相変わらず人も車も多く、賑わっている。

・そして4時過ぎに今日の宿泊地新篠津に到着した。ここでめでたく11個目のスタンプをゲットし「30駅達成・ラリー賞」の申請を完了。やれやれやっと落ち着いた。真夏の太陽が容赦なく照りつける炎天下、11駅も続けて回ったのでけっこうしんどく疲れた。山に登るよりもしんどかった。駐車場の片隅に車を止めて一休み、明日の帰京の準備をした。



・5時半をまわったので、そろそろ風呂にでも入ろうかと「たっぴの湯」へ。去年も入ったがあまり記憶がない。あらためて見てみると広くて設備もよくいい温泉だ。露天風呂から新篠津湖に沈む夕日を眺めながらのんびり湯に浸かり至福の時を過ごした。

・風呂でさっぱりと疲れを癒し、さて待望の「エゾシカのステーキ」とレストランに行ったが、なんとメニューから消えている。北竜のスープカレーといい、ここ新篠津のエゾシカステーキといい、今年はことごとく空振りを食った。しだいに暮れゆく新篠津湖を眺めながら枝豆に生ビールで北海道最後の夜に一人で祝杯をあげ、生姜焼き定食を腹に収めた。



・これで 今年の北海道山紀行も無事終了した。

*家内との観光旅行から始まった今年の北海道旅行をいろいろ思い出しながら眠りについた。

● 7月18日（金） 晴 小樽港からフェリーで新潟へ

・4時起床。周りの車はまだ寝ている。うっすらと霧がかかっているが天気は良さそうだ。道路がすいているうちに小樽へ行ってしまいたいので、朝の支度もそこそこに5時過ぎに道の駅「しんしのつ」を出発して小樽を目指した。3車線のところもあり高速道路並みのすばらしい道、早朝で車も少なく快走し6時半前に小樽フェリーターミナルに到着した。乗船開始が9時半だからまだ3時間もある。少し早すぎたかな。ゆっくりと乗船の準備をし、お湯を沸かして味噌汁を作り、おにぎ



りで朝食をとった。7時半にカウンターで乗船手続きをすませ、あとは乗船を待つのみ。まだ2時間もあり、この待ち時間が長い！ 乗船待ちの車は数十台でそんなに多くないが、自衛隊の車が数十台隣のスペースに待機している。どうもこれらも乗るようだ。

・9時15分、いつものようにバイクから乗船開始。松本 No. 長岡 No. などの立派な自動二輪が次々と乗船してゆくの混ざってスーパーカブが1台上って行ったのが面白かった。

・次に自衛隊の車が乗船を始めた。次から次へと切れ目なく、乗るは乗るは特車や砲車なども混ざり50台以上はあったと思う。



・その後にやっとわれわれ一般の車の乗船が始まった。私の部屋はS寝台のH-58。自動販売機の裏側にあり、こんなところにもS寝台があるなんて知らなかった。船内は自衛隊員と思われるゴツイ男がいっぱい。一番風呂を、と覗いてみたが隊員らしき男がいっぱいなので、今回の一番風呂は止めにした。

・出港のドラが鳴り、船が岸壁から離れて行く。後部甲板に立ちビールを片手にカップ麺を食べながら、徐々に離れて行く小樽の街を、毎年のことながら感慨深くじっと眺めていた。

今年回って来た北海道を一つ一つ思い出しながら。

今年で最後かな？ 来年もまた来るかな？ RAV4は来年も走ってくれるかな？



・船内に戻りパソコンで写真の整理をしていたら12時過ぎになってしまった。後部甲板に出て穏やかな大海原を見ながらビアガーデンで生ビールを一杯。良い気分で船室に入りひと眠りした。船は快晴の日本海を快調に南下している。ロビーは大勢の人が飲んで食べて賑わっている。とにかくやることなく暇を持て余す。8時から熟睡して12時に目が覚め、それからうとうとして翌朝を迎えた。

● 7月19日(土) 晴 新潟港に上陸し榛名へ

・朝4時過ぎに洗面所へ行ったらもう自衛隊員らしき男どもでいっぱい。フェリーは定刻通り6時に新潟港に接岸した。自衛隊員は5時過ぎに車両甲板に下りて行った。われわれ一般乗客は6時に甲板に下ろされ車の中で待機した。自衛隊の車両から下船をはじめ、私は6時半に約1ヶ月ぶりに新潟の地上に下りた。今日から3連休ということもあり、新潟港は乗船待ちの車でいっぱい。

・天気はあいにく雨が降っている。雨の中榛名に向けて出発した。亀田から高速に乗ってしばらく走ったら、なんとこの雨の中事故渋滞に遭遇し、通過に20分もかかった。まだ朝早いのでこの事故渋滞を抜ければ後は車が少なく快調に走れると思いきや、ここからが豪雨の中の走行となりたいへんだ。時々前がほとんど見えないほどの大降りとなり、時速40kmでも危ないくらい。こんな状態が結局関越トンネルに入るまで続いた。最後に来て大変な試練をうけることになった。前橋ICを下りるころには雨もすっかりあがり、11時過ぎに義母と朋子が待つ榛名に無事到着した。天気は回復し薄日もさしていた。

今年の北海道山紀行はここで終了となる！！

登った山は5つ、そのうち初めての山が4つでみんなマイナーな山なのでそれぞれに面白かった。最後の大雪山の緑岳と白雲岳はどちらも2度目で、快晴の天気と沢山の美しい花々が歓迎してくれた。厚岸では諏訪のご夫婦、当麻ではラーメン屋台のおじさんと九州から来た78歳の山男と、大雪の防災センターではカートを引いて歩いて北海道を旅している大阪の青年2人組と、いろいろ楽しい出会いがあった。17万kmも走らせた愛車RAV4には、旭川でパンクという形で抵抗されたが、その後は機嫌よく順調に走ってくれた。

やっぱり北海道はいいな！！